

「内山の街づくりを考える会総会」並びに 「内山の市街地整備等検討準備会総会」の報告



<会場風景>

平成 25 年 5 月 19 日、午後 1 時 30 分より 4 時まで、中央林間コミュニティセンターにおいて、「内山の街づくりを考える会総会」と「内山の市街地整備等検討準備会総会」が約 80 人の参加で開催されました。

会長挨拶、来賓祝辞、議案提示、承認、質疑応答の順で進められ、最後に大和市の海老澤街づくり計画部長より激励の言葉があり、無事終了いたしました。

内山の街づくりを考える会総会

午後 1 時 30 分～2 時 30 分

- ◎会長挨拶(鎌田会長)
- ◎来賓祝辞(井上副市長、大谷市議会議長)
- ◎議事
 - 平成 24 年度事業報告・収支決算報告・監査報告
 - 平成 25 年度事業計画(2 頁参照)・収支予算(6 頁参照)
 - 運営委員等の一部改選



<写真は来賓挨拶される井上副市長>

〈鎌田会長挨拶〉

当会は平成 15 年 1 月の創立より 10 年 4 カ月が経ち、大きな転換時期を迎えております。本日、前半は「内山の街づくりを考える会」の総会、後半は当会が全面的に支援している「内山の市街地整備等検討準備会」の総会であります。

「内山の街づくりを考える会」は内山自治会地区約 92ha の全体の街づくりについて考える会であります。人口約 6000 人、世帯数約 2500 軒という多くの住民の方々のより安心・安全な環境造りを目指しております。

内山自治会地区の相模原市寄りに位置する北半分約 42.8ha の区域は、市街化調整区域ということで、市街化を抑制されている区域となっております。公共下水道や雨水処理設備等が敷設されておられません。道路は狭い上に、段差や凹凸の箇所がたくさんあります。住民へ不安や不満等を与えている、これらの諸

問題を解消すべく住民の有志の方々が立ち上がり、昨年5月に結成されたのが「内山の市街地整備等検討準備会」であります。

これより先ず、「内山の街づくりを考える会」の平成24年度活動報告並びに25年度活動計画案等を提案させていただきます。皆様の忌憚のないご意見、ご審議を切にお願いする次第でございます。

〈平成25年度事業計画〉

1.他団体の活動への協力・支援

内山地区内において活動する街づくり等の団体と連繋を深めるとともに、必要な協力・支援を行う。

	項目	計画
1	内山の市街地整備等検討準備会への支援	内山の市街地整備等検討準備会、大和市等との情報・意見交換を実施するとともに、検討準備会の活動への支援を積極的に行う。
2	つるまの森保全協力会への協力	つるまの森保全協力会の活動へ積極的に参加する。
3	中央林間内山自治会への協力	中央林間内山自治会主催の環境整備活動に、中央林間第二寿楽会・中央林間小学校PTAとともに参加する。

2.身近な環境改善

住みやすい環境にするため、身近な問題を取り上げ、関係者への要望や自主的な活動を進めていく。

	項目	計画
1	内山地区全体に関する街づくりの諸問題への対処	市街化区域である南Ⅰ・南Ⅱ・西Ⅱの各地区については、住民から問題点の情報収集を行い、随時対処していく。 市街化調整区域である東・西Ⅰ・北の各地区については、検討準備会の活動において抽出された問題点で、短期に解決が可能であるものについて、随時対処していく。 いずれも現地確認を行い、中央林間内山自治会とも協議のうえ、関係者(住民・地権者・行政・事業者など)と改善に向けての協議を行う。
2	安全な通学路の確保	中央林間小学校PTA・中央林間第二寿楽会・中央林間内山自治会・大和市と協力して、安全意識の高揚をはかる。

3.広報活動

当会の活動を周知するため、以下の活動を実施する(内山の市街地整備等検討準備会に係る広報活動も含む。)

	項目	計画
1	ホームページの更新継続	内山の街づくりについて、逐次情報提供する。

◎会長挨拶(北島会長)

◎来賓祝辞(甘利経済再生担当大臣、安藤元県会議員、河崎市議会議員、井上市議会議員、佐藤市議会議員、古木商工会議所副会頭)

◎議事

- 平成 24 年度事業報告・収支決算報告・監査報告
 - 平成 25 年度事業計画(4 頁参照)・収支予算(6 頁参照)
 - 規約の一部改正・理事等の一部改選
- ◎質疑応答(2 名の方から質問あり)



<写真は来賓挨拶される甘利経済再生担当大臣>

〈北島会長挨拶〉

内山の市街化調整区域の市街地整備を早急に進めるには、市街化区域に編入するしかない、ということを進めて参りました。毎週木曜日に事務局会議を開きまして、丁寧に会を進めて来ております。

平成 24 年度は、市街化になった場合の諸問題について、地権者の方々に理解を深めて頂くために勉強会を重ね、先進地区の現地調査を実施して参りました。皆様の関心も徐々に深まってきたのではないかと感じております。

今年度は大和市でも、市の調査のための予算をつけていただきました。当会の活動費につきましても、若干増額(総額 52 万円)をしていただきました。皆様のご意見を色々な形でお聞きしながら、市とも協議を重ねまして、整備案をまとめていきたいと考えております。

まずは整備案の方向性を決めるために地権者の方々にアンケートを実施し、アンケート結果から出た市街地整備の方向性に基づいて、具体的な整備案をまとめていきます。整備案を皆様に御示し、御意見を頂いて、変更すべき点は変更し、さらに整備案を絞り込んでいきます。

皆様のご協力を、今後とも宜しくお願い申し上げます。

〈平成 25 年度事業計画〉

地権者の意向調査

5月 平成25年度事業計画について、総会で承認を得る。	理事等 地権者
6月～7月 類似先進地区の視察をし、ヒアリングを実施する。 相模原市当麻地区(特定保留区域)等	事務局 希望者
7月 「地権者の意向・要望を反映した整備計画を作るためのアンケート」(案)を大和市と協議しながら作成する。	事務局 幹事会 大和市 コンサルタント
8月～9月 意向調査の実施 先進地区視察結果やアンケートの目的・内容についてあらかじめ説明を行い、アンケートを実施する。	事務局 協力者 地権者
10月 ①アンケート結果の集計、分析 地権者意向図の作成。地権者意向からみた課題を分析する。 ②アンケート結果の地権者への報告 速報により地権者に情報発信。報告会の実施。 ③賛同率が多い場合、検討会の設立準備を行う。	事務局 幹事会 大和市 コンサルタント 地権者

市街地整備計画案の協議

11月 市作成の仮称「内山地区市街地整備等誘導方針」素案についての協議 街づくりの目標、コンセプト、土地利用の方針、緑地の保全、既成市街地の居住環境改善プラン、地区計画や区画整理など整備手法の検討、事業費や平均減歩率等の算出など	事務局 幹事会 大和市 コンサルタント
1月～2月 仮称「内山地区市街地整備等誘導方針」案に基づく地権者との協議 ・地区内在住の地権者との協議 ・地区外地権者との協議 ・整備計画案に対する地権者意向のとりまとめ	事務局 大和市 コンサルタント 地権者
3月 平成25年度活動の成果としてのパンフレット作成、配布	事務局

平成26年度以降

検討会と改称して、地権者との意見交換をより深く行い、整備計画案ができた段階で、再度、皆様の意向確認を行います。

〈平成25年度収支予算〉

内山の街づくりを考える会

(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科目	25年度 予算額(A)	24年度 決算額(B)	比較増減 (A-B)	摘要
繰越金	796	1,590	△ 794	
会費	32,000	33,000	△ 1,000	1,000×32名(運営委員等の年会費)
助成金	200,000	200,000	0	中央林間内山自治会
寄付金	0	0	0	
雑収入	10	7	3	預金利息
合計	232,806	234,597	△ 1,791	

2. 支出の部

(単位:円)

科目	25年度 予算額(A)	24年度 決算額(B)	比較増減 (A-B)	摘要
事務用品費	10,000	7,240	2,760	コピー用紙・コピー代・文具代など
通信費	15,000	10,850	4,150	郵送代
会議費	20,000	17,448	2,552	会議用お茶代など
事業費	40,000	35,254	4,746	身近な環境問題への取組み、顧問(街づくり専門家)への謝礼など
助成金	100,000	148,009	△ 48,009	内山の市街地整備等検討準備会への支援
慶弔費	15,000	15,000	0	行事祝儀・慶弔代など
予備費	30,000	0	30,000	
次年度繰越金	2,806	796	2,010	
合計	232,806	234,597	△ 1,791	

内山の市街地整備等検討準備会

(自平成25年 4月 1日 至平成26年 3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	25年度 予算額(A)	24年度 決算額(B)	比較増減 (A-B)	摘要
前年度繰越金①	1,284	0	1,284	
会費 収入	39,000	38,000	1,000	1,000×39名(理事、運営委員等)
補助金	620,000	551,000	69,000	大和市 520,000、内山の街づくりを考える会 100,000
雑収入	1,000	30	970	預金利息
収入合計 ②	660,000	589,030	70,970	
総計 ③ ① + ②	661,284	589,030	72,254	

支出の部

科目	25年度 予算額(A)	24年度 決算額(B)	比較増減 (A-B)	摘要
事務用品費	74,000	72,942	1,058	名入封筒及び印刷、コピー用紙等
通信費	140,000	126,405	13,595	案内状等郵送切手代、ハガキ代
会議費	50,000	47,429	2,571	打ち合せ、勉強会お茶代
事業費	376,000	340,970	35,030	パンフレット(1000部)作成等
予備費	20,000	0	20,000	
支出合計 ④	660,000	587,746	72,254	
次年度繰越金 ③ - ④	1,284	1,284		

〈質疑応答〉

【質問 1】 事業計画の意向調査の中で、賛同率のアップを図りたい旨の話がありましたが、賛同率は地権者の人数だけなのか、あるいは土地の面積も考慮するのか？それから、コンサルタントという言葉が記されていますが、コンサルタントはどのような方法で選出するのですか？

【回答 1】 先ず、コンサルタントの件ですが、市街化調整区域の基礎資料等を作成するために、大和市が予算を計上して業者に委託するわけですが、入札によって選定すると聞いております。会でも同じコンサルタントに協力をお願いしたいと考えています。次に賛同率の件ですが、人数と面積の両方で考えています。

※補足：大和市選定のコンサルタントについて

大和市が業者を選定する、一般競争入札の結果、「平成 25 年度下鶴間内山地区市街地整備等誘導方針作成業務」の委託先は、昭和株式会社に決定した旨、大和市より準備会へ通知がありました。

※補足：賛同率について

今回の意向調査では、市街化区域編入について、2/3 以上の地権者の賛同が得られれば、検討準備会から検討会へのランクアップを考えていますので、人数を重点的なものとしています。今後、区画整理的な事業に具体化していく場合には、人数と面積の両方で 90～100%近い地権者の合意形成を考えなければなりません。

【質問 2】 地権者の総人数と地区内地権者と地区外地権者の割合はどの位でしょうか？また公所の地権者の土地保有率はどの位でしょうか？

【回答 2】 地権者数は地区内で約 550 人、地区外で約 150 人、合計で約 700 人と推測しています。地区内地権者の方の土地は、42.8ha の内、約 45%で、地区外の方は約 55%を占めると推定されます。公所の地権者の方の保有率ですが、42.8ha の内の約 26%を占めるものと捉えています。

〈激励の言葉 大和市海老澤街づくり計画部長〉

歴代会長をはじめ皆様が、この地域を愛されて、自ら行動、情報を発信されていることに、心から敬意を表します。

街づくりを進めるには合意形成が必要です。賛成、反対だけではなく、積極的に賛成ではないが協力する、あるいは方向性は理解する、あるいは条件によっては賛成する、など色々な考えがあると思います。一人ひとりの声を大切に、活動していただきたいと思います。市もできる限り、準備会と一緒に取り組んでいきたいと考えています。一緒に頑張りましょう。

〈来賓紹介〉

- 西山中央林間小学校校長
- 奥山中央林間小学校 PTA 会長
- 小杉つるまの森保全協力会代表

〈オブザーバー〉

- 大和市街づくり推進課 曾我課長
 - 大和市街づくり推進課 財津係長
 - 大和市街づくり推進課 殿村担当
- (内山の市街地整備等検討準備会 事務局作成)